

鶴ヶ島第一小学校 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針	教職員	①私は、学校教育目標や教育方針を理解し、達成できるよう努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての対象から概ね肯定的な評価であった。保護者は、①の「そう思う」の割合が19%となっており、他の対象者からの評価に比べて低くなっている。また、やや否定的な評価である③の割合も、他の評価対象者よりも高くなっている。保護者へ周知していく必要がある。
	児童	①私は、学級目標や個人目標を達成するために努力している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も授業参観や学校行事等の際に、取り組みの目的と学校教育目標との関連を伝え、くり返し発信していく。(学校だより・校長講話等) ・児童や保護者の理解につながるように、学校教育目標を学校HPやC4thを活用し積極的に発信していく。
	保護者	①私は、学校教育目標や教育方針を知っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりやホームページ、掲示物において、教育目標の周知はできている。北市民センターでも見かけることがあった。そのような取り組みは、有効であるため、今後も継続してほしい。 ・保護者への啓発については、行事や活動の内容を「学校教育目標」と関連付け、分かりやすく提示していく必要がある。
	地域	①私は、学校教育目標や教育方針を理解している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島第一小学校 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学級経営	教職員	②私は、児童のよさや可能性を發揮できる学級経営を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果について の分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての対象者から90%以上の肯定的な評価であった。 ・教職員、保護者で「そう思う」の評価である①が約35%前後に対して児童は71%と学級の生活に満足していることがわかる。
	児童	②私は、学級での生活が楽しいと感じている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□系列1 □系列2 □系列3 □系列4 □系列5</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員は、夏季休業日などに児童理解研修や教育相談的な手法を活かした面談方法を学ぶ研修の機会を設けていく。 ・児童の中には、③のやや否定的に感じている児童もいるため、生活アンケートを継続的に取り組み一人一人に寄り添った児童の支援対策を講じていく。
	保護者	②学校は、児童のよさや可能性を發揮できる学級づくりをしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に目指す学校の一つである「やさしい言葉」が児童からも職員からも聞こえてくる。引き続き、児童一人一人を理解し、よさや可能性が發揮できるように関わってほしい。 ・教職員の結果「そう思う」36%と、保護者の結果「そう思う」34%がほぼ同じ割合である。教職員の実践は保護者に伝わっている。だからこそ、教職員の「そう思う」の評価を引き上げる必要がある。 ・全ての児童が楽しいと感じる学級経営を目指し、行事なども有効活用し、居場所づくりをお願いしたい。
	地域	②学校は、児童のよさや可能性を發揮できる学級経営を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島第一小学校 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学習指導	教職員	③私は、児童が意見を主体的に発表したり、他者の意見を聞いたりして学びを深める授業を実践している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教職員」の肯定的な意見が95%と高かった。 ・「児童」「保護者」の中には③あまりそう思わないの割合が「児童」10%、「保護者」5%であった。 ・自分の考えを伝える時間をつくり、友達と考えを共有する場面がもてるように授業展開をする必要がある。
	児童	③私は、自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれながら勉強している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中には、自分の意見や友達の意見などを共有して考えにふれたり、児童にペア学習やグループ学習の活動に取り組み、多様な考えに触れられるようにする。 ・教職員は、県学力・学習状況調査を有効に活用し児童の伸びや課題を把握し、具体的な指導に活かす。また、研修を通して学びを深める授業を職員全体で共有する。
	保護者	③学校は、児童が自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれる授業をしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中にペアやグループで会話している場面をよく見た。学び合い学習のスタイルも年々定着していて、集中して学習に取り組める指導が実践できている。 ・発表が苦手な児童への支援をお願いしたい。これからの社会では、自分の考えを伝えることが大切になってくる。
	地域	③学校は、児童が自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれる授業をしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

鶴ヶ島第一小学校 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学習指導	教職員	④私は、学習目標達成のために学習用端末や大型モニタ等のICT機器を活用して、わかりやすく工夫した授業を行っている。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的な意見87%、児童の肯定的な意見90%であった。 ・教職員は、学習端末やICT機器を十分に活用しているといえる。 ・児童の否定的な意見が11%となっているが、学年によって学習用端末を使用する時間に差が出ていると考えられる。
	児童	④私は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりして、積極的に授業に参加している。		<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が考えを広げたり、深めたりするには、伝え合う場面や考えを共有することが必要である。 ・ICT機器を活用して協働的に学習に取り組む場面の充実を図っていく。 ・学校公開日や授業参観で学習用端末を活用している授業を参観してもらえるようにしていく。
	保護者	④学校は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりする、授業を行っている。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者評価の「そう思う」のみ半数に至っていない。授業参観や学校公開等の機会を活用し、プレゼンテーションに画像・動画を見せる等、保護者に直接訴える取り組みを工夫する必要がある。 ・授業の参観から学年の実態に合わせて、写真を見せたり、動画を活用したりすることができている。 ・ICTの活用では、情報モラル等の研修を児童と教職員で行い、マナーを守って活用してほしい。
	地域	④学校は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりする、授業を行っている。		

鶴ヶ島第一小学校 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
体力	教職員	⑤私(学校)は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、児童の体力向上を図っている。	<p>41% 50% 5% 5%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての対象者から90%以上の肯定的な評価であった。 ・授業公開日に体育的な行事を多く実施し、参観してもらっていることが、保護者の肯定的意見が高くなっている要因だと考えられる。
	児童	⑤私は、体育や休み時間に、校庭や体育館などでいろいろな運動をして、体力をつけようと努力している。	<p>65% 28% 6% 2%</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、体育行事を積極的に行い授業を公開する。 ・成果を学校HPで知らせる。 ・長期休業中体育的な宿題、なわとびカード等、家庭と協力した活動を行う。
	保護者	⑤学校は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、児童の体力向上を図っている。	<p>37% 58% 5%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TVゲームや動画視聴など学校外で運動することが減っているため、体育の授業や休み時間に体を動かすことは非常に重要であると考えます。引き続き、体力向上を目指し取り組んでいただきたい。 ・運動会や持久走大会などの行事は運動が苦手な児童への配慮も必要であるが、児童の心身の成長のためには非常に重要であると考えます。 ・食事、睡眠時間の大切さも家族に伝え、学校ではしっかりと指導してほしい。
	地域	⑤学校は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、児童の体力向上を図っている。	<p>67% 33%</p>	

鶴ヶ島第一小学校 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導	教職員	⑥私は、児童の生徒指導上の課題等に対して、組織的に、家庭と連携・協力しながら対応している。	<p>45% 55% 0%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的な意見100%であった。生活アンケートの実施、生徒指導委員会での報告・相談、相談日の設定など、組織的な取り組みができているためと考えられる。 ・児童、保護者もおおむね肯定的だが、20%弱の否定的な意見であるため、学校の対応に不安や心配をかかえていると考えられる。
	児童	⑥私は、いじめやトラブルなどの問題に対して、先生やおうちの人に相談し、一緒に解決しようとしている。	<p>52% 30% 13% 5% 0%</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童に対して、少しでも気になる様子が見られたら、積極的に声かけをし、話しやすい場を設定できるようにする。また、場合によっては定期的に面談を実施する。 ・保護者に対しては、普段から小さなことでも連絡を取り合い、信頼関係を築けるようにする。よかったことやがんばったことを積極的に伝え、学校に相談しやすい、話しやすい環境を作る。
	保護者	⑥学校は、いじめやトラブルなどの問題に対して、組織的に、家庭等と連携・協力しながら対応している。	<p>32% 49% 16% 3% 0%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校は些細なことでも、家庭への報告・連絡・相談をし、家庭との情報共有・連携をとっている。しかし、「そう思う」の割合は低い。引き続き、丁寧に取り組んでいただきたい。
	地域	⑥学校は、児童の生徒指導上の課題等に対して、組織的に、家庭等と連携・協力しながら対応している。	<p>50% 50% 0%</p>	

鶴ヶ島第一小学校 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導	教職員	⑦私は、児童のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果について の分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の90%以上が、肯定的にとらえている。一方で8%の児童が否定的にとらえている。
	児童	⑦私は、自分のよさや可能性を伸ばしたり、友達との関わりを大切にしながら、自分の目標に向かって行動したりしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の肯定的な気持ちをさらに伸ばすため、よさを認め、積極的にほめたり、児童がお互いによさを認め合い、大切にし合える関係づくりができるような学級作りをする。 ・保護者に児童の頑張っている姿を見てもらえる授業参観日や公開日など、目標に向かって頑張る様子がわかる授業を心がける。児童のよさを伝える機会をなるべく増やせるよう心がける。
	保護者	⑦学校は、児童のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校では、よく取り組んでいると思うが、保護者評価の「そう思う」の評価が30%程度と低い。保護者へ学校での取り組みを丁寧に説明していく必要がある。 ・授業参観や休み時間などの児童の様子から、教職員が日頃から行っている指導の成果は表れている。
	地域	⑦学校は、児童のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

鶴ヶ島第一小学校 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
特別支援教育	教職員	⑧私は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。	<p>55% 41% 5% 0%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員・地域からは、90%以上の肯定的な評価であった。 ・16%の児童は、自分の困り感を保護者や教職員へ伝えられていない状況がある。
	児童	⑧私は、苦手なことなどを、先生やおうちの人に相談し、一緒に解決しようとしている。	<p>49% 35% 11% 5% 0%</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携・協力を図れるように公開日や授業参観等の参加の促進をする。 ・相談できる場をC4thやHPで配信し、月1回ある教育相談日を積極的にアナウンスする。
	保護者	⑧学校は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。	<p>25% 58% 15% 3% 0%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な児童の特性があるため、引き続き家庭と連携し、一人一人を大切に支援してほしい。 ・校内で、教職員同士がお互いの授業を見合いながら、指導力の向上や学級経営力の向上を図っている取り組みは評価できる。引き続き努力していただきたい。
	地域	⑧学校は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。	<p>50% 50% 0% 0%</p>	

鶴ヶ島第一小学校 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
地域とともにある学校	教職員	◎私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに努めている。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員と地域の回答の割合の数値は近いが、保護者は若干①の「そう思う」が低い。「学校づくりに協力」は具体的な活動が必要である。 ・教職員については、地域に出る活動や保護者を巻き込んだ活動がもっとできるのではないかという意識があると推察される。
	児童			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業参観・公開日に来校するなどの活動も「学校づくりに協力」であることを周知する。 ・地域人材を活用した授業を実施した事例を次年度に引き継ぎ、積み重ねていく。
	保護者	◎私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに協力している。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりやホームページ等、啓発への取り組みはできている。さらに理解が深まるよう、学校からの発信の工夫をお願いしたい。 ・引き続き、地域や保護者と共に協力し合い、児童を見守り育てていただきたい。
	地域	◎私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに努めている。		

鶴ヶ島第一小学校 小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
働き方改革	教職員	⑩私は、働き方改革の目的を理解し、業務改善を進め、心身ともに健康であるよう努めながら、教科指導や教育相談等に係る時間を増やし、教育の維持・向上に努めている。	<table border="1"> <caption>評価結果の棒グラフ</caption> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>27%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>64%</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	割合	①	27%	②	64%	③	9%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員アンケート(6月)では、肯定的な意見が83%であった。1月のアンケートと比較すると教職員一人一人の働き方改革の目的の理解が深まり、業務改善が推進されている。 ・働き方改革の本来の目的を十分に踏まえた上で、教職員の心身の健康を考えた在校時間の短縮を継続する必要がある。
	評価項目	割合														
	①	27%														
	②	64%														
③	9%															
④	0%															
⑤	0%															
児童			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県が推奨している「カエル会議」を定期的に企画、運営し実践していく。 ・学力向上のための教材研究など、放課後の時間を確保するために会議や研修の回数を見直す。 													
保護者			<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域が、ともに手を携え、共に育てていく意識を高めることで、児童の健全な成長につながる。 ・更なる方策として、学校ボランティア(学校応援団)の積極的活用をぜひ検討していただきたい。 													
地域			<ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育力を活用し、先生方が各々の目的に応じた自由に学び合い研究できる時間や、先生方が児童と直に向き合える時間を確保できるように工夫していただきたい。 ・教職員の健康管理に努めていただきたい。 													